

2021年9月15日
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Fukuoka Branch

九州・沖縄の金融経済概況

(2021年9月)

当資料は当店ホームページに掲載しています <https://www3.boj.or.jp/fukuoka/>

<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行福岡支店営業課 Tel : 092-725-5513



1. 総論

○ 九州・沖縄の景気は、持ち直しのペースが鈍化している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、下押し圧力が強い状態にある中、持ち直しの動きが一服している。公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、一部業種に弱さがみられるものの、持ち直している。住宅投資は、持ち直しの動きがみられている。輸出は、足踏み状態となっている。

こうした中で、生産は、足踏み状態となっている。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の動向が当地の企業や家計のマインドに与える影響等に留意する必要がある。

<景気判断の前回との比較>

| 項目 | 基調判断 | | |
|-------|--------------------------------|--------------------------|--------------------------------|
| | 前回 | 今回 | |
| 景気全体 | 厳しい状態にあるものの、輸出・生産を中心に持ち直しつつある。 | 持ち直しのペースが鈍化している。 | |
| 需要項目 | 個人消費 | 持ち直しの動きが一服している。 | 下押し圧力が強い状態にある中、持ち直しの動きが一服している。 |
| | 住宅投資 | 持ち直しの動きがみられている。 | 持ち直しの動きがみられている。 |
| | 公共投資 | 高水準で推移している。 | 高水準で推移している。 |
| | 設備投資 | 一部業種に弱さがみられるものの、持ち直している。 | 一部業種に弱さがみられるものの、持ち直している。 |
| | 輸出 | 高水準で推移している。 | 足踏み状態となっている。 |
| 生産 | 持ち直している。 | 足踏み状態となっている。 | |
| 雇用・所得 | 労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。 | 労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。 | |

2. 個人消費

- 個人消費は、下押し圧力が強い状態にある中、持ち直しの動きが一服している。

▽個人消費関連の動向

| | | |
|--------|-----------------------|--|
| 非耐久消費財 | 百貨店売上高 | 弱めの動きとなっている。 |
| | スーパー売上高 | 持ち直している。 |
| | コンビニエンスストア売上高 | 持ち直しつつある。 |
| 耐久消費財 | 家電販売 | 堅調に推移している。 |
| | 乗用車新車登録台数 (含む軽自動車) | 供給制約の影響から登録に遅れがみられるものの、販売地合いは持ち直している。 |
| サービス | 旅行・観光 | 当地発の旅行取扱額は、国内外ともに大幅に減少した状況が続いている。この間、観光面も、厳しい状況が続いている。 |

3. 住宅投資

- 住宅投資は、持ち直しの動きがみられている。

7月の新設住宅着工戸数は、持家の増加を主因に前年を上回った。

4. 公共投資

- 公共投資は、高水準で推移している。

7月の公共工事請負金額は、国発注分の増加を主因に前年を上回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、一部業種に弱さがみられるものの、持ち直している。

7月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方3か月移動平均）は、前年を下回った。

6. 輸出

- 輸出は、足踏み状態となっている。

7月の輸出額（九州経済圏）は、前年を上回った。

7. 生産

- 生産（鉱工業生産）は、足踏み状態となっている。

▽主要業種の生産動向

| | |
|------------------|--|
| 輸 送 機 械 | 自動車は、部品の供給制約の影響により、大幅に減少している。船舶は、受注残の減少により、生産水準が低位で推移している。 |
| 電子部品・デバイス | 高水準で推移している。 |
| 汎用・生産用 ・業務用機械 | 半導体関連向けを中心に増加している。 |
| 化 学 | 低調に推移している。 |
| 鉄鋼・非鉄金属 | 持ち直している。 |
| 食 料 品 | 弱含んで推移している。 |

8. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。

労働需給をみると、有効求人倍率は横ばい圏内で推移している。

6月の雇用者所得総額は、現金給与総額の減少を主因に前年を下回った。

9. 物価

- 7月の消費者物価（九州地区、生鮮食品を除く総合）は、前年を下回った（7月：▲0.3%）。

10. 金融

- 7月の預金残高をみると、個人預金や法人預金を中心に前年を上回った。

- 7月の貸出残高をみると、法人向けや個人向けを中心に前年を上回った。

- 8月の企業倒産をみると、件数は前年を下回ったものの、負債総額は前年を上回った。

以 上